

ボランティアコーディネーション

第1回

問われるボランティアコーディネーターの質

——— 特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長 後藤麻理子

■“コーディネーター”量産時代？

さまざまな分野・領域で“コーディネーターが必要だ”といわれる時代。

専門分化した組織部門を横断的につなぐ、多様化する人びとの価値観に対応するサービスをつくり出す、顧客の希望をきいて求める情報や人材を紹介する、コミュニティや組織内の利害やニーズを調整する、等々。われわれに身近な市民活動分野だけではなく、企業や行政の活動指針や計画のなかでもコーディネーターの役割が目立つなど、世の中全般がコーディネーションという働きを求めています。

ところが、あちこちでコーディネーターへの関心が集まっているにもかかわらず、必要とされる能力やその機能にかかわる専門性についてはあまり語られていません。

そもそも「コーディネーション」とはどのような機能なのでしょう。コーディネーションにはたんに「つなぐ」「調整する」ことにとどまらず、「対等にする」「同格にする」という意味があり、コーディネーションは「誰かと誰かが協働できるように促していく」機能をもちます。そして、コーディネーターはまさにその働きをする人間のことです。

■ボランティアコーディネーターの位置

今日、ボランティア活動はさまざまな分野で実に多種多様に展開されています。ボランティアの受け入れや協働を志向する機関・団体は着実に増えていますし、ひとたび大きな災害が起これば幅広い地域からボランティアが救援活動に駆け付けけることも当たり前になりました。そのようななか、ボランティアコーディネーターという呼称は使わないまでも、その役割を担うスタッフを配置する組織や場面は増加してい

ます。けれども、多くの場合、他の業務との兼務であったり、一時的な役割としての配置に留まっているのが現状でしょう。

ボランティアコーディネーターという人材を語る時“優れたボランティアコーディネーションをしている”といわれる人が、必ずしもそれを専門業務で行っているスタッフとは限らない」とはよくいわれることです。ボランティアとのかかわりには、知識やスキルだけでは乗り切れない“人間力”の勝負のような側面があり、その人自身の魅力や発想力が人を惹きつけ、共感を生み出し、多様な人びとを巻き込んで、結果的によいコーディネーションができていくこともよくみられる現象です。

■専門性が育つ土壌をつくるために

けれども、ボランティアコーディネーターに求められる役割は、片手間にできるような簡単な仕事ではありませんし、個人の経験則だけでクリアできるものでもありません。

ボランティアコーディネーターは人や組織との信頼と協働関係づくりが鍵となる仕事です。そのような関係づくりには時間も手間もかかります。また、ボランティア・市民活動の価値についての理解や、コミュニケーション力、情報を収集し伝達する力、活動プログラムを開発する力など、幅の広い知識やスキルをもっていることが求められており、研修や事例の集積、交流などが必須だと考えられます。

そこで、このコーナーではボランティアコーディネーターに求められる専門性について多様な分野からの実践を通して考えていきます。ボランティアコーディネーターが今より一歩前に踏み出せることを願って。

◆◆◆ 会議・イベント・助成関連情報 ◆◆◆

地域福祉を支援する「わかば基金」

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団

1. 支援内容

第1部門(支援金贈呈): 1グループにつき上限70万円まで。およそ10グループほどを支援予定。

第2部門(リサイクルパソコン贈呈): 1グループにつき3台まで。計50台を支援予定。

2. 募集期間 平成21年5月1日(金)～同年5月22日(金)必着

3. ホームページ <http://www.npwo.or.jp/index.html>

4. 問い合わせ先 社会福祉法人 NHK厚生文化事業団
TEL 03-3476-5955

サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成／シニアボランティア活動助成

財団法人 大同生命厚生事業団

サラリーマン(ウーマン)およびシニアのボランティア活動を支援することにより、ボランティア活動の振興と社会福祉の向上に寄与することを目的とし、標記助成が行われます。

1. 助成金額 総額 500万円以内 1件原則 10万円(20万円限度)

2. 募集期間 平成21年4月1日(水)～同年5月31日(日)必着

3. ホームページ <http://www.daido-life-welfare.or.jp>

4. 問い合わせ先 大同生命厚生事業団 事務局 TEL 06-6447-7101

ニッセイ財団 高齢社会助成

財団法人 日本生命財団

平成21年度の高齢社会助成として「先駆的事業助成」と「実践的研究助成」の募集が行われています。市町村社協や特別養護老人ホーム等が取り組む先駆的事業ならびに実践家と研究者が協働して取り組む実践的研究への助成が行われます。

1. 応募締切 (1) 実践的研究助成 平成21年6月16日(火)消印有効

(2) 先駆的事業助成 平成21年6月1日(月)消印有効

2. ホームページ <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/>

3. 問い合わせ先 財団法人 日本生命財団 高齢社会助成 事務局
TEL 06-6204-4013

平成21年度(第35回)社会福祉助成金

社会福祉法人 丸紅基金

我が国の福祉の向上に資することを目的として、全国の社会福祉活動に従事する施設・団体に対して助成の平成21年度の申込募集が行われています。

1. 助成金額・件数 総額1億円、50件以上(概ね70件程度)

※1件あたりの助成金額は原則として200万円が上限

2. 申込受付期間 平成21年4月15日(水)～同年6月30日(火)消印有効

3. ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/index.html>

4. 問い合わせ先 社会福祉法人 丸紅基金 TEL 03-5446-2474・2475